

21世紀型企业への転換を図る

急増する個別労使トラブルへの対応！

個別労使紛争が急増中!!

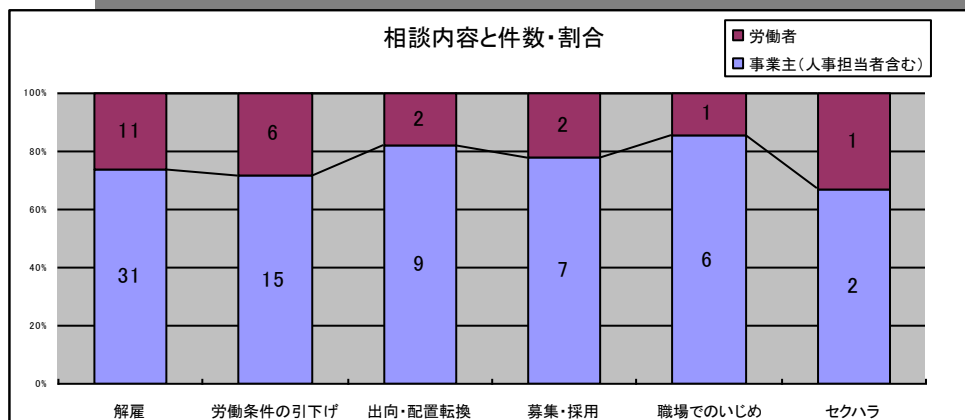
■ 「集団紛争」から「個別紛争」へ、さらに多様化?!

労使紛争と言えば、かつては事業主と労働組合とのトラブル、つまり「集団的」な労使紛争がほとんどでした。しかし、このような「集団的」な紛争は、労働組合の組織率低下などの事情もあってか、近年は減少傾向にあります。

これに対し、最近、その数が急増しているのが、個々の労働者と事業主とのトラブル、いわゆる「**個別労使紛争**」です。また、この「個別労使紛争」は、単に数が増加しているだけではなく、そのトラブルの内容が多様化しています。

《個別労使紛争が急増する背景》

経済社会情勢の変化 企業の組織再編 人事労務管理の個別化の進展



※上のデータは、2005年1月～9月までに弊所に相談のあった労使トラブルの件数とその割合です。

はじめに・・・

労使紛争が「集団的」なものから「個別的」なものへ、そして、その数が急増していること、紛争の内容が多様化していることについては、お分かりいただけたかと思います。

では、企業として、“どのような取組みが必要か”について考えてみましょう。



1. まずは、知ることです・・・?!

「知ること」と言っても、ポイントが2つあります。ひとつは、『労働関連法規や自社の就業規則・諸規定などのルールを雇う側が知る（理解する）』ことです。

そして、2番目が、社員の不平・不満に耳を傾け、『社員の気持ちを知る』ことです。

■ 法律に定められている内容は、ご存知ですか?!

労使間でトラブルが起こってしまった場合、または、起きそうになった場合に、みなさまからご相談をいただくことがあります。その時に、痛感させられることが多いのが（少しきつい言い方をしますが・・・）、解決を迫られる立場にある担当者として、労働関連法規や自社の就業規則・諸規定などにちょっと無関心で、理解も不足しているのでは?という点です。

労働者を雇入れ、指揮・命令し、労務管理を行う以上は、ある程度の知識がなければなりません。インターネットの検索で、「労働基準法違反」、「解雇・リストラ」「職場での〇〇（いじめやセクハラ）」などのキーワードを入力してみてください。詳しい説明や違法なことなのか、それとも適法なことなのか、が書かれたサイトがたくさんヒットします。インターネットの普及により、情報の検索、入手が容易になった現在では、このようなサイトを通じて、働く側は知っているということです。だからこそ、雇う側としても、それ相応の法的知識を身に付けておく必要があります。

あなたの会社には、トラブルの芽が潜んでいませんか？

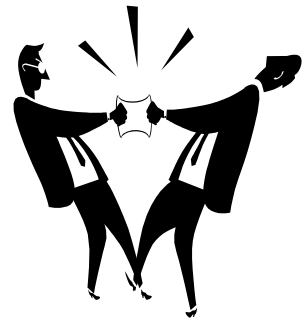
こんなの不当解雇だ!! サービス残業させるな! 残業代払え!
求人票の内容と実際の職務が違うじゃないか!
上司からセクハラを受けている! 職場でいじめにあっている!



■ 社員の声に耳を傾けてください…

労使紛争が表面化した場合、双方の言い分を聞くことになりますが、なかでも、働く側の言い分として多いのが、「社長や上司のやっていること（または、言っていること）と、社内のルール（または法律）が違う」、「言っていることが朝礼暮改で、何が正しいルールなのか分からない」ということです。

これは、言い換えれば、守らなければならない法律や就業規則・諸規定の他に、会社独自の“暗黙のルール”が存在してしまっているということです。このような“暗黙のルール”の存在は、時として大きなトラブルに発展しかねません…。



【A社でのトラブル】

広告代理店のA社で起こったトラブル事例です。A社には、広告の営業を担当する社員と広告のデザインを担当する社員がいます。ある朝のミーティングで、社長が「デザイン担当の社員に限っては、前日の残業が23時を超えた場合、翌日の出社は11時までに来れば良い」という発言をしました。社長は「クリエイティブな仕事は、疲れが溜まっていれば成果が上がらない」という考えから発した言葉です。しかし、このルールは、就業規則などに明記されたルールではありませんでした。

それから数ヵ月後、営業社員が次々に退職していきました。なかには、みなし労働扱いとされていた時間外労働分の残業代を請求してきた退職者もいました。営業社員の言い分としては、「自分たちも深夜まで残業をしたり、接待をすることがあるのに…、デザイン部門ばかりが優遇されている」ということでした。

【解決策】

A社では、今回のトラブルをきっかけに、社内に潜んでいるトラブルの芽を調査することにしました。右のアンケートを使い、社員から“暗黙のルール”となっていることや会社への不平・不満をアンケートとして提出させたのです。その後、調査結果をもとに、就業規則や諸規定を見直し、法適正についてもクリアしました。以後、この会社でトラブルは起こっていません。

社員の皆様へ

～会社のルールに関するアンケート～

1. 仕事をするうえで、暗黙のルールとなっているようなものはありますか？

2. 就業規則・諸規定、その他社内のルールで適法ではないのでは？と疑問に思うことはありませんか？

3. 会社に対する不平・不満などありましたら記入してください。

※ アンケートは無記名で、全員を対象

**社内インディ制度導入コンサルティング受付中！
人財確保・定着対策 社員のスキル診断受付中！**